



尼崎双星高等学校図書館

2022年度 図書貸出トップ10 [2022年4月7日~2023年2月28日]

順位	クラス	貸出冊数	順位	クラス	貸出冊数
1位	1-2	141冊	6位	3-5	58冊
2位	3-3	122冊	7位	1-1	57冊
3位	1-8	77冊	8位	1-4	54冊
4位	1-6	70冊	9位	2-5	52冊
5位	2-3	61冊	10位	1-5	46冊

本日 3月2日(木)から、春休み 特別貸出 実施します。 一人10冊まで! ★返却日:4月10日(始業式の日) ← 最長で 40日間 貸出できます。


★★★★★新着図書紹介★★★★★

<p>『この世の喜びよ』第168回 井戸川射子/著 芥川賞受賞 講談社</p>  <p>幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートの常連の少女と知り合う。言葉にならない感情を呼び覚ましていく表題作「この世の喜びよ」をはじめとした作品集。</p>	<p>『荒地の家族』第168回 佐藤厚志/著 芥川賞受賞 新潮社</p>  <p>元の生活に戻りたいと人が言う時の「元」とはいつの時点なのか。あの災厄から十年余り、生活も仕事道具も攫われ、妻を喪った男はその地を彷徨い続けた。仙台在住の書店員作家が描く、止むことのない渴きと痛み。</p>	<p>『地図と拳』第168回 小川 哲/著 直木賞受賞 集英社</p>  <p>奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめくり、殺戮の半世紀を生きる。ひとつの都市が現われ、そして消えた。日本 SF 界の新星が放つ、歴史×空想小説。</p>
<p>『しろがねの葉』第168回 千早 茜/著 直木賞受賞 新潮社</p>  <p>戦国末期、石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と秘められた鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き出す。喜兵衛を失ったウメは、欲望と死の影渦巻く世界にひとり投げ出される。</p>	<p>『あさとほ』新名 智/著 KADOKAWA</p>  <p>幼い頃、夏日の目の前で双子の妹・青葉は「消失した」。青葉を忘れられないまま大学生になった夏日は、卒論指導の教授が失踪したとの報告を受ける。先生の行方と未詳の物語「あさとほ」を追う夏日は、十数年ぶりに明人と再会し、共に調査を始めるが。ふたりが「行方不明の物語」の正体に辿り着くとき、現実が大きくその姿を変える。</p>	<p>『空を駆ける』集英社 群 よう子/著</p>  <p>名作児童文学『小公子』を日本で初めて翻訳。命を燃やした三十一年の生涯に新たな光をあてる感動長編。「わたしは、翼を広げ、空を駆けるように飛ぶための準備をしなければならない」カシは、女性の自立と子どもの幸福こそがこの国の未来を照らすと信じて生きていく――。</p>
<p>『サウンド・ポスト』 岩城けい/著 筑摩書房</p>  <p>会話を、言葉を欲しがっている小さな女の子と、やもめ男ののっぴきならぬ事情と、彼ら親子のただならぬ状況。「トーチャン、音楽って言葉なんだ！」――英語がわからない父親と日本語がわからない娘が、オーストラリアの地でつむぎ、響きあう、言葉と音楽の物語</p>	<p>『汝、星のごとく』講談社 風良 ゆう/著</p>  <p>風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海(あきみ)と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權(かひ)。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。まともな人間なんてものは幻想だ。俺たちは自らを生きるしかない。</p>	<p>『サバカン SABAKAN』文藝春秋 金沢 知樹/著</p>  <p>僕には【サバの味噌煮の缶詰】を見ると思い出す友だちがいる。小学校最後の夏休み、僕はタケちゃんと一緒に冒険の旅に出た。懐かしくて、じんとき来る、笑いと涙の映画『サバカン SABAKAN』の原作小説</p>

『N/A』年森 瑛/著 文藝春秋
 松井まどか、高校2年生。うみちゃんと呼き合って3か月・体重計の目盛りはしばらく、40を超えていない。「かけがえのない他人」はまだ、見つからない。優しさと気遣いの定型句に苛立ち、肉体から言葉を絞り出そうともがく魂を描く




『掬えば手には』瀬尾まいこ/著 講談社
 大学生の梨木匠は平凡なことがずっと悩みだったが、中学3年のときに、エスパーのように人の心を読めるという特殊な能力に気づいた。だれもが涙せずにはいられない、切なく温かい物語。



『キリンの首』河出書房 ユーディット・シャランスキー/著
 4年後の廃校が決まっている高校。生物教師ローマルクの授業に、自由は存在しない。一人の女子生徒の存在とともに、完璧な教室に亀裂が生じはじめる。美しい自然とさびれた村を舞台に綴られる驚異の物語



『中高生のための文章読本：読む力をつけるノンフィクション選』 澤田英輔/編
 説明文から評論まで気づき・発見に満ちた21篇を収録。読む力をサポートする手引き。読書案内も充実。



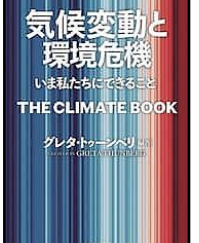
『空想科学読本1・2・3』柳田理科雄/著 KADOKAWA
 科学の面白さにハマる！1000超の検証事例を厳選収録した、いま注目の新シリーズ！『鬼滅の刃』の我妻善逸は、眠ったときだけメチャ強くなる！いったいどういうこと？




『宇宙の歩き方 太陽系 TRAVEL BOOK』 鈴木喜生/著
 ホントに行ける宇宙パッケージツアー。宇宙旅行ガイド。宇宙旅行見どころ満載！土星の環くぐりクルーズ「月の南極」弾丸ツアー。




『気候変動と環境危機 いま私たちにできること』 グレタ・トゥーンベリ/編
 グレタと世界の学者・識者104人が総力を結集してまとめた決定的な情報源！いますぐに知って考えて行動すべきこと。



『フェミニスト・シティ』晶文社 レスリー・カーン/著
 なぜ、ベビーカーは電車に載せづらいのか？暗い夜道を避け、遠回りして家に帰らなくてはならないのはなぜか？男性基準で計画された都市で、女性たちはどう生き延びてきたか。「街を作り、街を生きる」ためのフェミニズムの建築的展開。



『ニッポンのSDGs なぜなにクイズ図鑑』 日本版のSDGsを45のクイズで楽しく学ぼう！ Q:日本で1年間に捨てられる洋服は4tトラック何台分？ 答えはなんと、12万台分なのだ！



『中高生のスポーツハローワーク』 スポーツを仕事にしたい君へスポーツ業界の仕事と職種がわかる！見つける！スポーツの世界で仕事をしている先輩15名のインタビューと、70以上の職種を紹介！



『生命の大進化 40億年史』古生代 土屋 健/著
 約40億年前に、原初の生命が誕生した。やがて生命はあしをもち、眼をそなえ、多様性を増した。植物が陸上に進出し、動物もそれを追うように陸上へと世界を広げた。生命の多様化と絶滅のダイナミックなドラマを化石写真とイラストで綴る





『18歳から100歳までの日本の未来を考える 17のキーワード』 樋口裕一/著
 国際情勢、経済、AI、教育、ジェンダー、少子高齢化、環境問題、グローバル化、IT、民主主義など17テーマ。大学入試のベスト参考書。



『ORIGINS：原始の地球、創造の40億年を巡る旅』オグイェ・グリュネヴァルト/写真
 天地創造を彷彿させる未開の自然の美しさ。この絶景を、私たちは守れるだろうか？150枚を超える写真で体感する、人類が生まれるまでの物語。



『いのちの惑星、地球。HEY, BABY! 野生動物の子どもたち』ステファニー・ウォーレン・ドリマー/著
 緑が芽吹く熱帯雨林、凍える北極圏、深い海の底。野生動物の子どもたちは、今日もこの美しく広大な地球で生きていく。豊かな大自然をゆりかごに育つ野生動物の子どもたちの写真集

『消えゆく動物』ジョエル・サートレイ/写真
 写真家ジョエルは一人で、絶滅から動物を守る撮影プロジェクトをスタートさせた。300点の美しい写真で、絶滅してしまった動物、絶滅の危機の動物を紹介



『一度読んだら絶対に忘れない物理の教科書』池末翔太 著
 『生物を分けると世界が分かる』岡西政典 著
 『自分らしい最期を生きた人の9つの物語』前田和哉 著
 『「死んでもいいけど、死んじゃダメ」と僕が言い続ける理由』大空幸星 著
 『USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか？』森岡毅 著
 『世界でいちばん素敵な地理の教室』片岡英夫 監修